

週日の説教

金 大烈 神父 2010年3月19日(金)

《母の祈り》

おはようございます

聖ヨゼフについては、特に説明しなくてもどのような方であるか、皆様よくご存知だと思います。なによりも不思議と思うのは、このように重要な大事な方なのに、聖書には彼の一言も載っていないことです。最後まで無口で家族を守って下さった方であること。ですから、聖ヨゼフは聖家族の守護聖人として全ての国の人々が尊敬して取次ぎを求めます。家族だけでなく聖ヨゼフの場合は、各国で国の守護聖人としても尊敬しています。

さあ、今日は家族のことを思い浮かべて下さい。私にも家族があります。皆様にも家族がありますよね。「いいえ、私は一人で来ました。」とおっしゃる方は何処から来たのでしょうか。(笑い) お父さん、お母さんがいたので、皆様もこの世に現れたのでしょうか。そして、兄弟もいるでしょう。亡くなった方もいらっしゃいますよね。家族のことを考えると思い浮かぶイメージが暖かさ、懐かしさだったら、皆様は上手に家族の関係を築いてきた印だと思います。しかし、苦しい感じ、黒いイメージ、疲れているイメージばかり浮かんでくる方は、今からでもその関係を、早く治さなければならない家族だと思います。どの家族にも十字架があります。本当に不思議と思うのは、外面的には穏やかな幸せそうな家族にみえても、そこをちょっとのぞいてみますと必ず十字架があります。その十字架はほとんどが、家族の平和を崩す役割をしていることがよく分かります。皆様の家族の中にも十字架があるでしょう。恥か、気持悪くなることか分かりませんが、言い出したい家族の、自分たちだけお墓までもって行きたい気持の十字架があるかも知れません。しかしその十字架のために、皆様は今までどのような態度で、どのような心で歩いて来たのかを、振り返ってみる必要があると思います。

私は、皆様にいつも強調して話して来たと思いますが、何よりも家族で必要なことは何だと言いましたか。数え切れなくらい強調して来たと思いますよ。よく考えて思い出してください。誰の祈りが大事だと言いましたか「お母さんです。」そうですね。「お母さん！お母さんの祈り！」があれば十字架の重さはなくなります。全く同じ十字架でも感じられる重さが100%変わります。

さあ、皆様、今日少し時間を取りましょう。そして、皆様が思い浮かべる一人一人の家族のことをよく考えて、その痛みも喜びも神様に捧げましょう。

今から祈りの時間を持ちますのでよろしくおねがいします。

皆様、側におられる家族に対してのその意向を、聖なる聖餐式に預かって、叶えられることを信じてこのミサを続けましょう。

ありがとうございました。